

校長室だより

10月号

杉並区立向陽中学校
平成28年10月31日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】

「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

◇ 『東京都 生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』の結果のお知らせ

今年度実施した『東京都 生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』の集計結果がまとまりましたので、一部抜粋版をお知らせします。各学年生徒の体力・運動能力の概要が把握できます。

【男子】（1年：青・2年：黄・3年：赤）※赤数字は東京・全国よりともに低い

	身長	体重	握力	反復横とび	持久力	50M走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
本校	151.7	41.3	22.5	46.2	401.5	8.5	178.6	17.5	32.9
東京	153.1	43.0	23.3	49.2	425.2	8.5	177.4	17.5	32.9
全国	153.4	43.9	24.6	49.5	416.1	8.4	181.0	18.7	35.5
本校	161.1	47.7	27.8	53.5	369.6	7.6	198.0	19.4	42.1
東京	160.5	48.0	28.6	52.2	384.8	7.9	194.0	20.2	41.0
全国	160.2	48.4	28.4	53.1	370.8	7.8	197.7	21.5	44.7
本校	164.1	53.0	33.8	54.9	346.5	7.3	205.1	23.0	48.8
東京	165.9	53.1	33.6	54.9	373.2	7.6	208.4	22.8	47.7
全国	165.0	53.2	35.4	56.1	365.1	7.4	212.4	24.1	51.6

【女子】（1年：青・2年：黄・3年：赤）※青数字は東京・全国よりともに高い

	身長	体重	握力	反復横とび	持久力	50M走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
本校	151.4	42.1	21.9	45.8	275.9	8.9	173.4	11.8	49.7
東京	152.4	43.1	21.4	45.6	303.9	9.1	162.8	11.0	43.5
全国	152.0	43.4	21.9	45.5	298.6	9.0	165.0	11.9	45.4
本校	155.3	47.0	24.0	45.3	281.9	8.5	171.3	11.8	50.0
東京	155.3	46.6	23.5	46.8	287.9	8.8	167.2	12.3	48.5
全国	155.0	46.6	24.4	47.0	278.4	8.7	170.7	13.5	51.4
本校	158.3	49.8	24.3	46.2	277.9	8.7	173.9	13.7	51.7
東京	157.0	49.2	24.8	47.5	290.9	8.7	170.0	13.2	50.7
全国	156.3	49.1	25.5	48.0	284.0	8.6	174.8	14.4	54.0

※ 合計点を比較してみると、1年男子が全国平均より低く、都平均とほぼ同じ、1年女子は全国平均及び都平均より高く、2・3年は男女とも全国平均より低く、都平均より高い状態にある。課題は1年男子が「握力」「反復横とび」、2年男子が「握力」「ハンドボール投げ」、3年男子が「立ち幅とび」、2年女子が「反復横とび」「ハンドボール投げ」、3年女子が「握力」「反復横とび」である。

◇ 「3学期を乗り越える！」 3年生127名と面談

＝9月12日～10月26日＝

およそ1か月半をかけて3年生と4人一組（3人一組も）の面談を行いました。この時期の3年生一人一人の様子を知りたい、来たるべき3学期への心構えを持ってほしいというねらいからです。幸いなことに9月下旬には修学旅行があり、3年生の素顔を見ることもできました。貴重な3日間でした。面談では2学期を迎え、すっかり“受験生”の様相を呈した3年生に敢えて「今頑張っていることは？」と尋ねてみました。向陽祭で発表するダンス部と吹奏楽部の人たち、クラブチームの試合が残っている人たちは、“勉強との両立”を挙げていましたが、少数の人を除いたほとんどの人が“(受験)勉強です”と答えていました。この少数の人たちの考えや気持ちを知ること大切になります。総じて自分の置かれている立場を理解し、志望校に向けて受験勉強に励む3年生を肌で感じることができました。

また、「あなたは大変な3学期をどうやって乗り切りますか」と一人一人に質問してみました。この質問には前段があります。私はつぎのように言いました。「2学期はほぼ全員が成績を上げたい、実力を身に付けたいという思いで勉強に励むから、クラスの雰囲気も乱れることはない。ところが3学期はそうはいかない。いよいよ一人一人の受験が始まるからだ。早い人は1月中旬に始まり、合格する人も出てくる。一方、都立高校の一次入試を受ける人は2月24日が入試で合格発表は3月2日だ。この間1か月半近くも差がある。しかもその間、出願だ、入試だ、発表だ、手続きだと教室への出入りが頻繁になる。自ずとクラスの雰囲気は落ち着かなくなる。しかも一人一人にプレッシャーもかかり、ストレスもたまったりする。自分ことしか見えなくなったり、自分のことで精一杯になったりする」。そこで、冒頭の質問となったわけです。

みんな真剣な表情で自分なりの考えを話してくれました。とても難しい質問だったと思います。“言うは易く行うは難し”という故事もあり、その時になってみないと分からないかもしれません。でも、これまでも何度となく話してきた「受験は個人戦でもあり、団体戦でもある」ことを肝に銘じ、3年生が“共に3年間歩んできた仲間”として乗り切ることを願っています。大人はみな、君たち3年生を応援しているよ。がんばれ！3年生！向陽祭で体育館いっぱい響かせてくれた君たちの歌声に“3年生の一致団結！”を肌で感じました。



9月25日～27日『修学旅行』にて↑

◇ 向陽中学校の「部活動」について考える ～部活動の果たす役割は大きい～

7月に実施した「学校運営協議会」の保護者アンケートの自由記述のなかで部活動に対する要望や意見が寄せられました。そこで、ご指摘のあったことに真摯に向き合うとともに、向陽中学校の部活動の現状について今一度お伝えしたいと思います。保護者の皆様が我が子の部活動に関心を寄せ、よりよく活動してほしいと願うのは至極当然のことです。私も常日頃、中学生にとって部活動の果たす役割は大きいと考えています。

今年度の学校経営計画のなかでも「自らの課題に向き合い、困難を乗り越える力を身に付けさせる（個人）。また、生徒の『集団力』を高め、生徒の自主性を育てる（集団）」（教育目標“たくましい人”の具現化）を掲げ、部活動を通して育むことに言及しています。また、今年度より「自らの行動を律し、“なりたい自分”に近づける力を身に付ける。そのために、“がんばれ！自分！”を合言葉に『自育力』を育てる」ことに取組み始めました。生徒に示した『自育力を育てる習慣づくり14か条』にある⑤くよくよせず失敗から立ち直る習慣づくり、⑥我慢強く、ねばり強くくり返す習慣づくり、⑦小さな目標を達成する習慣づくり、⑭「指示待ち」→「自ら行動する」習慣づくりなど、部活動で培われるものが多くあります。ただ、部活動ではこうしたことのみを求めるのではないことも心に留めておく必要があります。

顧問の確保と外部指導者の配置について

何と言っても顧問の確保が大きな課題です。毎年何名か教員の異動があり、その度に顧問をどう割り振るかを考えなければなりません。部活動による負担の軽重はありますが、基本的には全教員に顧問なってもらいます。不在となった顧問を転入してきた教員に依頼するケースが多いですが、そう簡単にはいかないこともあります。教員の専門性やこれまでの顧問歴、どうしても依頼せざる得ない状況などを考慮して決めるのが実態です。顧問経験者であればそれほど混乱もなく引き継げますが、全くの素人であれば、前年度までの活動を何とか継続できるようにするだけで精一杯です。このことはつぎの「活動日数・活動場所」ともかかわってきます。次年度に向けての課題は複数顧問制を全ての部活動に適用することです。

杉並区では外部指導員を配置する予算措置をしたり「部活動活性化事業」を実施したりと、各学校の部活動の支援を行っています。本校でも7つの部活動で外部指導員を配置し、硬式テニス部とバスケットボール部で「部活動活性化事業」を活用しています。この外部指導員の確保と外部指導費の不足に頭を悩ませています。

部活動の活動日数・活動場所等について

部員の人数が増えたので活動場所や曜日を調整してほしい、活動場所が確保されていない部は子どもがかわいそうに感じる、部活動の活動日を平均化してほしいなどの要望がありました。これまでにこうした要望はあまり聞かれませんでした。部員数の急増で1年生の活動がままならないというのが背景にありそうです。本校部活動の平日の活動日・場所



女子硬式テニス部：区大会にて



ソフトテニス部：区大会にて

は以下のとおりです。

○【校庭】サッカー・野球・陸上競技

月	火	水	木	金
サッカー・陸上	野球	サッカー・野球・陸上	野球	サッカー・陸上

○【体育館】バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球

月	火	水	木	金
バレー・バスケ	バレー・バスケ	バド・卓球	バレー・バスケ	バド・卓球

※バドミントン：月（校庭）、卓球：火（旧クラブハウス）、バレー・バスケ：金（校庭）

○【テニスコート】硬式テニス・ソフトテニス

月	火	水	木	金
硬式テニス	硬式テニス	ソフトテニス	ソフトテニス	硬式テニス

○【その他の活動場所】吹奏楽・ダンス・陶芸・ボランティア

月	火	水	木	金
吹奏楽・ダンス 陶芸・ボラ	吹奏楽・ダンス	/	吹奏楽・ダンス 陶芸・ボラ	吹奏楽

上記の活動場所・活動日は顧問間の話し合いで決定しています。勿論、多少の変更はあるものの、長年変わらずに引き継がれてきています。上記の表からは、確かに体育館を使える日数に部活動間で差があることが分かります。どうしたら不公平感をなくせるかについては今後顧問とともに検討したいと思います。ただ、特に経験のない管理顧問ともなれば、現状を維持することで精一杯であり、活動日や活動場所を増やしたりすることはなかなかできないこともご理解いただけるとありがたいです。

部活動の在り方について

□3年間継続できる部活動に□ 生徒も「部活動を3年間続けることが大切だ」と分かっていますから、継続する生徒がほとんどです。ただ、やむなく退部したり転部したりするケースもなくはありません。退部や転部により次なる活路を見出し頑張っている生徒がいることも事実です。学校としては3年間継続できるよう指導するとともに、できるだけそうした環境を整えていきたいと思っています。

□運動部は勝利を目指すが…□ 対外試合ともなれば、生徒が頑張り、その姿に保護者の応援にも熱が入ります。“勝って喜び、負けて悔しい”はいつの時代も同じですね。これはその部が強かろうが弱かろうが同じです。向陽中の部活動が強くあってほしいと願うのもみな同じです。しかし、強ければいい、弱いからダメだというものではありません。勝利を目指して、技術を磨きチームワークを育むなかで、人として集団としていかに成長させるか。向陽中学校の部活動はこんな役割も担っています。

□部活動は顧問と保護者の協力関係が不可欠□ 私は「生徒が部活動を通して自分を鍛え、仲間とともに成長してほしい」と願っています。私にできることは、できるだけ生徒の頑張る姿を応援するために公式戦や発表会に出向くことです。そこで出会った保護者の方々と思いを共有でき嬉しく思います。顧問と保護者が思いを共有する姿にはもっと嬉しくなります。



野球部：中央ろう学校との交流会